

事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表： 2024年 2月 15日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」戸田校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			・完全個室でない事、隣のブースとも近く音が漏れやすい為、気が散りやすいお子さんもいる。ブース内の位置などを変えたりして配慮に努めている。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			・現在、最低限の人数は揃っている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			・階段やトイレ前に段差がある為、声掛けなどを行い安全への配慮は行っている。 ・事業所内の整備にはエレベーター等の物理的限界がある為、利用者様にも協力をお願いしている。
業務改善	④	業務改善を進めるための PDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			・日々の中で、できる限り話し合う場を設けて、次の支援に活かしている。 ・記録や支援で話し合う時間が確保できない時は、ガルーン内でのチャットなどのツールを用い情報共有を行うよう継続して努めていく。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			・アンケートに限らず、日々の業務内に置いて保護者が話しやすいような環境づくりを努めている。 ・FB や個別の相談にて出てきた要望などについて、支援にて反映できるよう引き続き努めていく。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			・年に一度実施して、事業所ホームページに公開
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか			○	・現在、利用者、社内、財団法人発達支援研究所の3者評価となっている。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			・内部ではテーマ研修や事例検討など月に一度は設けられているので、積極的に参加に努めている。 ・外部についても、必要に応じて参加をしていくように努めていく。
適切な支援の提供	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			・6ヶ月に1回は、保護者から聞き取りを行い、指導員からも意見を聞き作成を行っている。また、指導員間でも、情報共有を引き続き継続して行っていく。
	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			・事業所共通のツールを利用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			・職員間で活動プログラムの共有を行うよう心掛けている。また、共通理解が必要なこともあるため、随時相談しながら進めていくことを継続していく。 ・子どもの成果に対し、アプローチの仕方の意見を出し合い教材の工夫などを行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			・気づいたことなど、職員間で報告しあい適切なプログラムに変化させる努力はしている。

	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		・個別支援を中心としているが長期休みにはこれを伸ばしたい、宿題を進めたいなど保護者の要望や課題設定の見直しなどに柔軟に対応するよう努めている。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	・基本的には1対1での実施になるが、子どもの状況に応じて集団でも実施できるよう努めている。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			・朝礼や支援直前にも、前回の内容など、必要な事柄の確認をするよう努めている。
	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			・その日にできなくとも、時間が許す限り報告などして共有している。支援終了後ではなく、朝礼や必要に応じてミーティングを実施し、職員間での情報共有を行っている。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			・毎回、支援記録の記載を行うとともに特記事項があれば社内ツールのチャットなどを利用して改善に努めている。
	⑱	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			・最低でも6カ月に1回はモニタリングを行い、利用者に対する最近の様子などを踏まえて会議実施や共通理解に努めている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ支援を行っているか	○			・学習支援だけでなく、認知性、巧緻性、社会性などの複数の活動を組み合わせて行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			・事前に情報確認や把握を行い、できるだけふさわしい人物が対応するように努めている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			・随時、来校時や事業所内相談支援時に学校行事や下校時などの確認を行っている。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○			・医療的ケアが必要なお子様が通所していない。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか	○			・要望があった際には、情報共有できるよう心掛けている。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか			○	・該当するお子様がいない。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			・現在のところ、機会がないが今後情報共有や連携などが行えるよう機会を設けていく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	・事業所以外での交流が、現在のところない。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか			○	・協議会が復帰した際には積極的に参加していく。

連携	⑳	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			・毎回の FB や相談のあった際に、共通理解できるよう努めている。
	㉑	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			・FB や相談時、都度質問に対して必要な助言を行うよう努めている。
保護者への説明責任等	㉒	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			・契約時や変更があった際、適宜行っている。
	㉓	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			・毎回の FB や随時相談があった際に、周りの状況や環境に配慮しながら対応を行うよう努めている。
	㉔	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○			・保護者会など、もう少し定期的に開催できるよう機会を設けるよう努めていく。
	㉕	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			・教室内で窓口を設定したり、申し入れがあった場合は丁寧に対応できるように努めている。
	㉖	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			・ブログや教室内にチラシを掲示したり、LINE などのツールを活用して発信を行っている。
	㉗	個人情報に十分注意しているか	○			・鍵のかかるロッカーにしまい対応している。
	㉘	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			・お子様に合わせた伝え方やニーズの確認を行っている。
	㉙	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか			○	・現在、地域住民の参加は行っていない。
非常時等の対応	㉚	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			・マニュアル作成と月 1 回の訓練は実施しているが、保護者への周知が弱いため、アナウンスもしっかりできるよう努めていく。
	㉛	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			・月に 1 回実施している。
	㉜	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			・マニュアルを作成し研修を実施している。
	㉝	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			・マニュアルを作成し、研修を実施している。 ・現在身体拘束に該当する方はいない。
	㉞	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	・現在、食事提供を行っていない。
㉟	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			・ヒヤリハット用ファイルを作成し、職員全員で共有に努めている。該当するかどうか判断が難しい場合は随時相談していくように努めている。	

保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2024 年 2 月 15 日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」 戸田校 保護者等数（児童数）：47 人 回収数：43 人 割合：91.4%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	38	5	0	・引き続き、ニーズに応じて教室内の環境を可能な範囲での整備に努めていきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	41	2	0	・現在、最低限の人数は揃っています。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	19	18	5	・マンションの設備上、難しいが問題ないと思う。 →マンションの構造上難しい部分はあります。階段やトイレ前に段差がある為、声掛けなどを行い安全への配慮は行っています。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 ⁱ が作成されているか	43	0	0	・引き続き、お話を伺いさせていただきながら作成に努めていきます。
	⑤	活動プログラム ⁱⁱ が固定化しないよう工夫されているか	40	3	0	・要望や相談を受け入れてもらっている。 ・子どもがやりたいことを優先してあげることが多いので、固定になってしまう傾向がありそう。 →必要に応じて変更することもできるので、フィードバックや声掛けさせていただいた際にご相談ください。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	9	19	15	・行われているかどうか分からず、判断できません。 ・なくても大丈夫です。 ・特に問題ありません。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	42	1		・引き続き、丁寧な説明に努めていきます。
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	43			・情報共有、フィードバックなどなされているので出来ている。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	39	2	2	・面談などの機会が年に 1.2 回でもあると嬉しいです。 →必要に応じて対応させていただきますので、お声掛けください。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	22	14	7	・土曜日や日曜日に行って頂けると、ありがたいです。 ・参加できなかったが、開かれていたのは知っている。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	35	8		・苦情がないです。 →引き続き、お話を伺いさせていただきながら適切に対応させていただきよう努めてまいります。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	42	1		

	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	28	14	1	・「きらり」のホームページ、たまに読ませて頂いています。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	42	1		
非常時等の対応	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	39	4		
	⑯	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	24	18	1	・訓練には参加できていない。
満足度	⑰	子どもは通所を楽しみにしているか	37	6		・基本的に学習するのが好きではないので、楽しみが少ない。
	⑱	事業所の支援に満足しているか	43			・長く支援して頂いているので、特徴や成長を見守っていただき、ありがとうございます。 ・多くの先生方に支えられています。ありがとうございます。 ・相談事を、しっかり聞いてくださっていて、いつも助かっています。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。